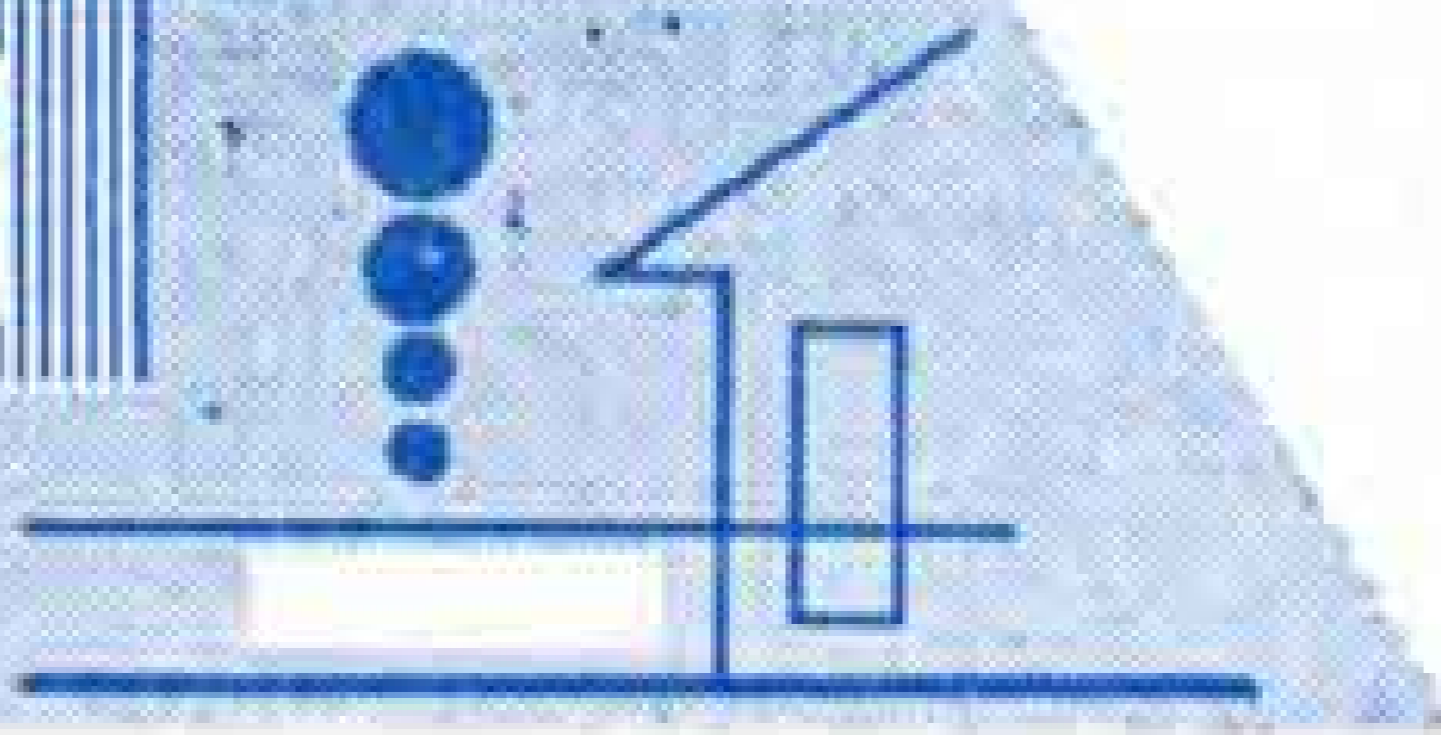


# 市政モニター提言



## 住民の意見を取入れる 「生きた市役所」に

日ごろ私たちは、市役所にいろいろな希望もし、苦情もいう事があります。そのつど、いつも感じる事は、態度が親切でないという事です。終戦後「公僕」という言葉が、よく使われるようになり、住民には心良い感触を与えたものであります。

市役所職員の現在の態度は、希望や苦情をいう者を敵視し、自分たちの意見や計画をすこしも変更することがないように見受けられます。それは、かたくなで住民の意見を取り入れることは、自分たちのプライドに傷つくとまで考えているむきが察せられます。時には、こちらが何も言わない前から一何の要件について意見をいおうとしているかも知らないで一突然にかみついてくる職員もあり

ます。役所が住民の意見を聞く会やアンケートを取っているのを私は知っています。しかし、日ごろ住民の意見や苦情の中の正しいものは、積極的にくみ入れていくことがない限り、おざなりな形式的企画となつてしまいます。

私どもの真にのぞんでいるのは、住民に対する親切な態度であり、意見を取り上げようとする生きた役所の活動です。その一環として、私はどこかの市でやっているような「すぐやる課」の新設を要望します。ここでは、住民のむりな要望にも、時に耳をかたむけると聞きましたもつとも市役所全体が「すぐやる市役所」にならなければいけないと思うが……。  
(河内鉄夫・富士町)

### ひとこと

#### 無線で子どもたちの 帰宅の呼びかけを

私は、昨年富士市に主人の転勤で引越してきました。その時、とてもうれしく思つたことは朝の7時半と夕方の5時の時報に続くお知らせのあることです。特に幼稚園と小学校の子どもをもつ私は、5時に「小中学生のみなさん、もう5時ですから家に帰りましょう……」という呼びかけのあることです。3人の子供は、その呼びかけで、家へ帰つてくることになつていましたが、最近呼びかけがなくなつたので、帰宅時間がルーズになつてしまいました。市役所の呼びかけのお蔭で、よい習慣がつきとても喜んでいたので残念です。(平垣本町・河崎満里子)



## 年末年始の 当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病患者のために定めたものです。急病のときにご利用ください。

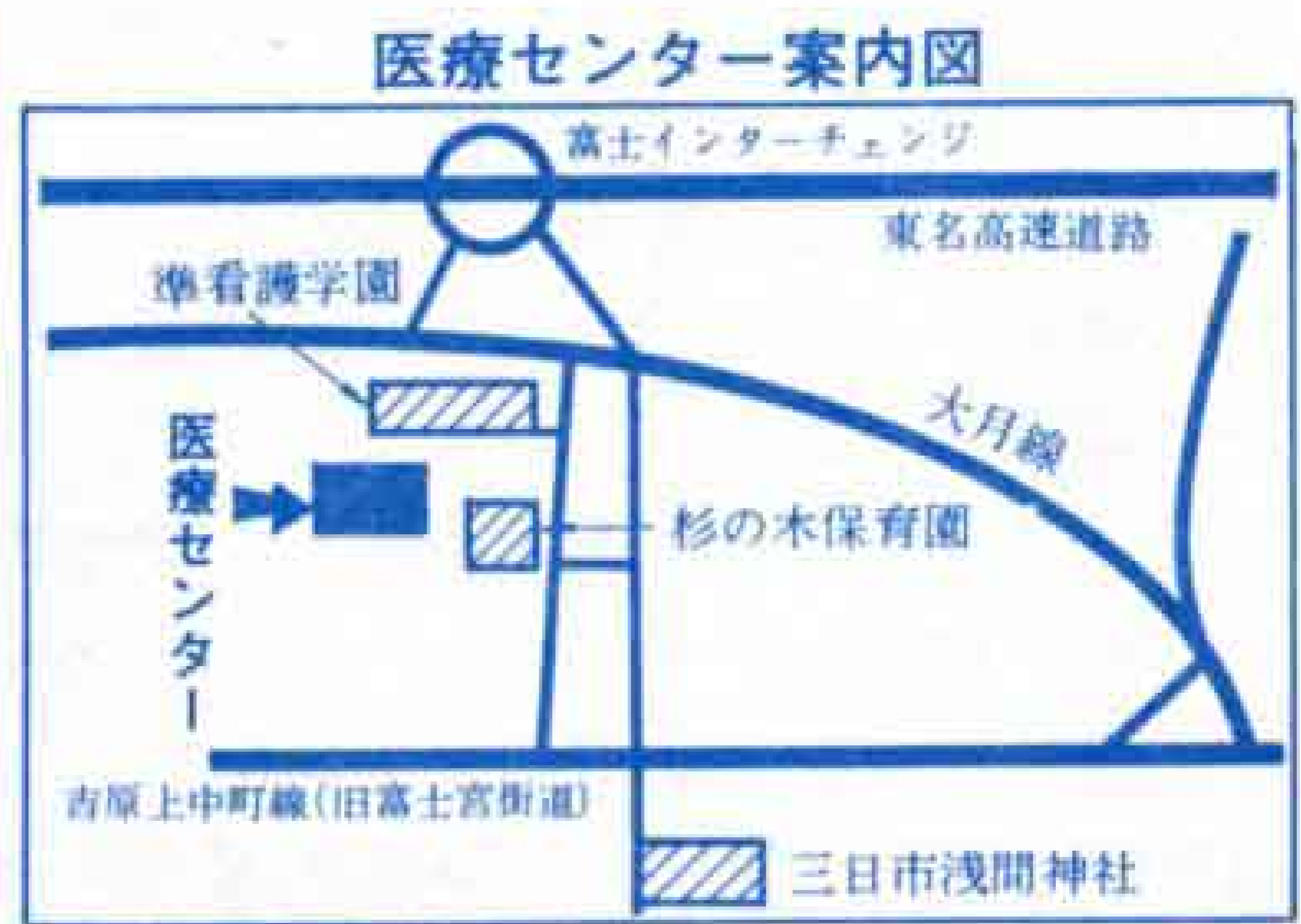
■12月31日  
外科 芦川病院(中央町2 52-2480)  
松本医院(久沢東 71-2570)  
産婦人科 中央病院  
(本市場4区 61-8800)

■1月1日  
外科 米山病院(吉原4 52-3060)  
宮下医院(平垣3 61-0376)  
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■1月2日  
外科 渡辺病院(錦町1 51-3751)  
清河医院(広見町6 52-6212)  
産婦人科 吉見医院  
(昭和通り 52-2396)

■1月3日  
外科 中央病院(本市場4区61-8800)  
米山医院(和田2 52-0275)  
産婦人科 北西医院(国久 61-0119)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行つています。診療時間は午前9時から午後5時までです。



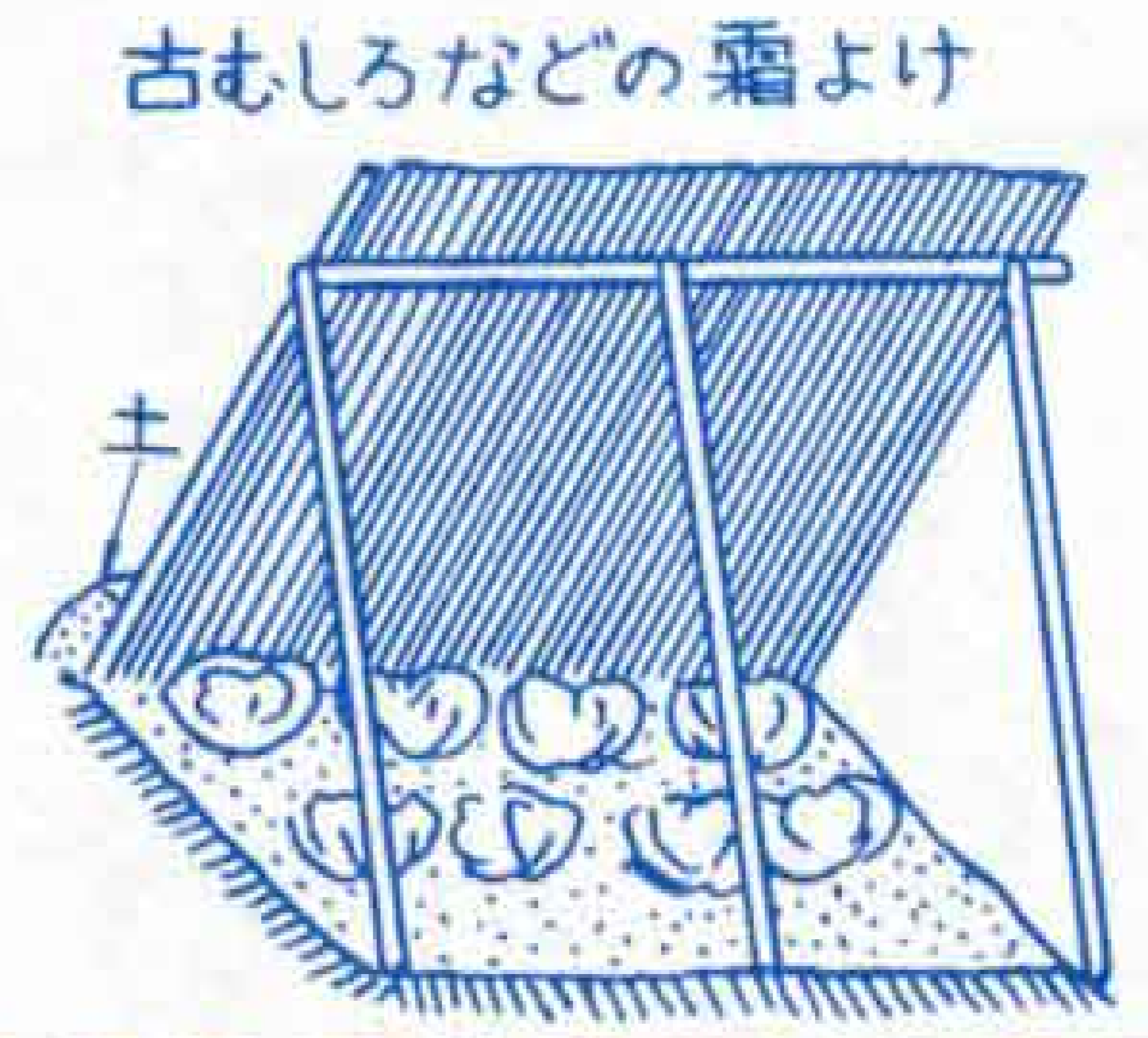
医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。

### 緑と花のコーナー

#### 草花は炭俵でおおいを

古むしろや炭俵などを横に広げ、地中に5割ほど傾斜に入れます。南に傾むけて2割おきぐらいに竹で支柱をします。炭俵は一重だとすき間が

あるのでうす霜がおりますから、二重にしてください。ヤグルマソウ、ヒエソウ、ストック、ハナビシソウなどの草花に適します。



古むしろなどの霜よけ